

2023.01.29. 偽善と二枚舌の危険性

第二ペテロ 2章 10節から 13節

JD ファラグ牧師

一緒に祈りましょう。天のお父様、主よ、感謝します。私たちはあなたをととても愛しています。主よ、あなたが神であられることを感謝します。主よ、あなたが私たちを養い、私たちを慰め、力づけて下さる事を感謝します。

主よ、この学びを始めるにあたり、私たちの心を静め、御言葉の中にとどまらせてください。

主よ、今日あなたのご用意された事を私たちが受け取り、人生に適用することができますように。明日は、今日とは違うクリスチャンになれますように。感謝します。どうか語ってください。イエスの力強い御名において祈ります。アーメン。アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。今日も来て下さりとても嬉しいです。座って下さっても良いのですが、すぐ立っていただきますけど、構いませんよ。オンラインで参加の方、歓迎します。ご参加くださり、大変うれしいです。日曜日の朝は2つの礼拝があり、第一礼拝は「聖書預言・アップデート」、そして、この第二礼拝は「説教」、神の御言葉を節ごとに学びます。現在、素晴らしい書、「第二ペテロの手紙」を学び進めています。聖書の全書に言いますが、特に、使徒ペテロのこの第二の手紙はそうです。では今日の聖書箇所は、2章 10節から 13節までです。先週は、9節まで終えましたので、今日は、その後の4節をです。では今、よろしければお立ちください。立たなければいけないのではなくて、座ったままが快適ならそれでも結構です。いずれにせよ、私が読むのに合わせて、ついてきてください。10節から、ペテロは前の節からの続きで不義で、邪悪な、偽教師について語ります。

—II ペテロ 2:10—

特に、汚れた欲望のまま肉に従って歩み、権威を侮る者たちに対して、主はそうされます。この者たちは厚かましく、わがままで、栄光ある人たちののしって恐れません。

—II ペテロ 2:11—

御使いたちは勢いも力も彼らにまさっているのに、主の御前で彼らをそしって訴えたりしません。

—II ペテロ 2:12—

この者たちは、本能に支配されていて、捕らえられ殺されるために生まれてきた、理性のない動物のようです。自分が知りもしないことを悪く言い、動物が滅びるように滅ぼされることになります。

—II ペテロ 2:13—

彼らは不義の報酬として損害を受けるのです。彼らは昼間から飲み騒ぐことを楽しみとしています。彼らはしみや傷であり、あなたがたと一緒に宴席に連なるとき、自分たちのだましごとにふけるのです。

祈りましょう。よろしければ、ご一緒をお願いします。天にまします父なる神よ、今朝、私たちはあなたの御前で姿勢を正し、聖霊が、私たちの教師でない限り、今日のこの御言葉を理解することはできないのを容易く認めます。どうか、聖霊が、私たちの目を開き、私たちを導き、教えてくださいますように。そうすれば、私たちは理解でき、ただ理解するだけでなく、どんなに不快で、罪を示されたとしても、自分の人生に適用する箇所を人生に適用できます。主よ、真実を知らしめれば、それが理由で私たちはここにいるのです。あなたが、私たちの人生に語ってくださることを聞きたいのです。あなたの御言葉は、両刃の剣より鋭く、外科的に関節と骨髄、魂と霊の間を刺し貫かれるのを知っています。(ヘブル 4:12 参照)

主よ、今日あなたの御言葉がその剣となり、私たちの人生を刺し貫き、私たちの人生に住み着き、私たち

を妨げたり傷つけたりするものを取り除いてください。

主よ、私たちの心を調べてください。あなたを聞き、あなたを知ることから、特に、あなたを愛することから遠ざけるものがないかご覧ください。あらゆる邪魔なものを主よ、取り除き、切り取ってください。

イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン 今度こそ、本当にご着席ください。

今日は、自分自身が罪になるかもしれない他人を非難することにおける「偽善や二枚舌の危険性」についてお話ししたいと思います。たとえ、偽りの教えや偽教師たちを正しく見極めれるとしてもです。

今日の箇所で、ペテロは、これらの偽教師の具体的な特徴に焦点を当て、具体的に、霊的な識別、霊を見分ける事を信徒たちに警告しています。しかし、偽教師を見分けることが、この箇所の論旨ですが、これに関しては、まず自分自身の生活を吟味しなければ、私たちは大きな間違いを犯します。なぜそう言うかを説明します。今日、私はこの学びを準備して、これは、どのような定義であれ、私がここに立って、説教出来るという意味で簡単にやれます。「これが偽教師の特徴で、このような偽教師の特徴に注意し、警戒しなければなりません。偽教師は、こんな風に見えます。彼らはこんな感じです。彼らはこんな風に話し、様子はこうです。」と。私は、それらを合わせてかなりしっかりした3点説教ができます。どうもありがとうございます。すると、あなたが今日ここを出るまでに、「ああ、あの偽教師め！」と思うようになり、罪を嗅ぎ分ける人になります。ー(笑)ー 突然、皆を見渡して、「君、わかってるぞ。」ー(笑)ー 私たちは、そんなことはしません。とにかく今日は。その理由は、主が私に、さらにもう一步踏み込むのを望んでおられるのを感じるからです。というのは..... 話すのは、「ちょっと待ってください。これが偽教師を見分ける方法です。これが偽りの教えを見抜く方法です。こうして、私たちは識別力を持つことができます。しかし、まず自分の生活でそうなのかどうか見極めたほうが良いのではないですか。」

それで、私は試しました。正直言いますと私はこうです。

「主よ、いいえ、そうは思いません。この節が語るのは、、、」

主は仰いました。「いいえ、わたしは、あなたに誰しもの傾向について話してほしいのです。」

「マタイの福音書7章」をご覧ください。すぐその理由がわかると思います。1節から5節までです。この箇所は、皆さんもよくご存じでしょう。イエスが説教しておられます。実は恐ろしく文脈から外れていますが、イエスは、7章1節でこう仰います。「さばいてはいけません。」皆さん何度も誰かがこう言うのを聞いたことがありますね。「私を裁くのはあなたじゃない。私を裁かないで。」あ、ちょっと待ってそんな急がないで。この御言葉を、新約聖書原語のギリシャ語で見ると、「非難してはいけない」という意味が含まれているからです。「裁く“Judge”」という言葉は、「不必要に、誤って裁いてはいけない」という概念を含みます。「私を裁かないで!」「お、待って。私は判断していて、あなたを非難していません。でも、私には健全な判断力と見識があって、あなたを非難するつもりはありません。私は審判ではありません。それは私がすることではありません。」ですから「非難しない」です。「Judge/裁く」に合わせてその単語を挿入していいですか? もう挿入しました。

ーマタイ 7:1ー

さばいては(非難しては) いけません。自分がさばかれたいからです。

ーマタイ 7:2ー

あなたがたは、自分がさばく、そのさばきでさばかれ、自分が量るその秤で量り与えられるのです。

ーマタイ 7:3ー

あなたは、兄弟の目にあるちりに見えるのに、自分の目にある梁には、なぜ気がつかないのですか。

私たちはもう罪を示されました？ 非難ではなく、罪の示しです。さらにイエスは仰います。

—マタイ 7:4—

兄弟に向かって、『あなたの目からちりを取り除かせてください』と、どうして言うのですか。見なさい自分の目には梁があるではありませんか。

—マタイ 7:5—

偽善者よ、...

「イエス.....これがイエス様ですか？」そうです。「かなり強烈ですね。」そう信じたほうがいいですよ。

—マタイ 7:5—

偽善者よ、まず自分の目から梁を取り除きなさい。そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目からちりを取り除くことができます。

さて、理解すべき重要なのは、英語の「hypocrites」（偽善者）の語源のギリシャ語が「hypokrites」で、それは、文字通り役者という意味です。実際、この言葉は2つの単語の組み合わせ、2つの単語の合成語で、ギリシャ劇の俳優が「正体を隠しながら」「仮面の下で裁く/判断する」意味です。演劇でよく仮面が使われるのはそれが理由です。由来は一世紀のギリシャ演劇です。役者がこの仮面を被って自分の正体を隠し、現実にはありえない人物を演じたから演技・惑わしを指します。ですから、その応用として強調されているのは、良い判断力と識別力を持つのではなく、偽善的に判断し、非難することです。言い換えれば、その人は独善の仮面、さらに悪い事に、自己欺瞞の仮面の裏側から他人を非難しています。このことは、本文に入り、私たちの理解を深める上で、非常に重要な意味があります。その結果、常に、彼らの偽善で、誤って誹謗中傷し、人の人格を傷つける事になります。これに関してもう1つ。それは「偽善」と「二枚舌」の違いです。どちらも似てはいますが、同義語ではありません。私はこの2つを区別して、この説教のタイトルをつけています。その理由は「二枚舌」とは、故意に、意図的に欺くという違いがあるからです。つまり、この人にはあることを言い、あの人には反対のことを言う。それが「二枚舌」「騙し」です。「偽善」とは、故意に騙すことではなく、自己欺瞞に陥ることです。正直さや敬虔さを演じたり装ったりすることで、これもまた事実ではありません。なぜこのように始めようと思ったかという、私たちは、自分の「偽善」や「二枚舌」に簡単に陥ってしまうからです。実際、私たちは自分に正直になれば、「偽善的な二枚舌」です。私は、誰かを教会に誘ったときに、こんな趣旨のことを言われるのが好きです。「いや、教会は偽善者ばかりだ。」そのとおりです。ですから、私はいつも言います。たぶん皆さん聞いたことがあるかもしれませんが、

「ええ、もう一人いてもいいんです。だから是非。」—(笑)—

ここでちょっと、気分転換が必要でしたので..... 繰り返しますが、真実は、私たちは皆、ある意味では偽善者で、意図的に不誠実で欺瞞的という点では二枚舌ですらあり、神に禁じられています。そこで「偽善」と「二枚舌」に注目したいと思います。ここに両方の危険性があるからです。危険なのは、「私たちは偽善と二枚舌によって、盲目にされていること」です。私たちは、自分の欠点が見えていないにもかかわらず、他人の欠点を指摘します。これから言うことをよく聞いてください。言葉遊びのように聞こえるかもしれませんが、そうではありません。

「二枚舌」や「偽善」は、誰が偽物かを正しく見極められる旗印のもと、他人の欠点を指摘します。

皆さん分かりましたか？ そう願います。伝わるようにメモに書きました。ですから、

偽り：F-A-L-S-E 偽教師と、欠点：F-A-U-L...

スペルを確認しなければなりませんね。スペルチェックです。

欠点：F-A-U-L-T-S. ですね？ 間違っていない？ OK。よかった。

私がここで言っていることがわかりますか？ 私が今日ここで、偽教師を見分ける方法、彼らを嗅ぎつける方法についての説教をしたとしたら、どうなりますか。「お～彼らは偽者だ。」あ、ちょっと待ってください。あなたの欠点は？ オズワルド・チェンバースの言葉です。私は、主との歩みの始めの頃にチェンバースを読んだことを覚えています、この言葉は長年に渡って常に私の心に残り、特に、結婚という状況で役立っています。チェンバースはこう言います。

「あなたが不当な扱いを受けたかどうかではなく、あなたが不当に扱ったかどうかだ。」これが「偽善」の問題点で危険性です。あなたはそのことに、盲目にされているからです。ですから、私は主を求めた後、このように今日の御言葉にアプローチすることを決めたのです。私自身も含めて、私たち全員が自問自答するのがよいと思われる 4 つの質問を投げかけたいと思います。そうしないと、主がお許しにならないからです。最初の質問は、10 節です。「私は傲慢なのか」

さて、ここでペテロは、これらの不義の者への処罰は、特に、その高ぶりと傲慢さゆえに権威を侮る者だと指摘します。なぜペテロは、そのように言うのでしょうか？ なぜなら、高ぶりは、自分自身の人生での高ぶりを見えなくするからです。高ぶりが最初にするのは、あなたの人生のハードドライブのアンチ・高ぶりソフト（高ぶりバスター）を無効化にします。彼らは、高度なコンピューターウイルスがあって、この言葉は使いたくないのですが、より良い言葉がないので、最近、ウイルスに敏感になっています。高度に設計されたコンピューターウイルスがあって、一旦、不正にコンピュータに侵入すると、アンチウイルス・ソフトを無効にし、感知できないようにします。それが高ぶりのすることです。高ぶりが入り込むと、まず最初にするのが、アンチ高ぶり・ソフトの無効化です。ですから、私たちは、自分に高ぶりがあることに気づきません。自分の人生のハードドライブに高ぶりがあることがわかりません。それがどのように現れるかという、完全自己中心的で、高ぶり満載の人。彼らは大胆にも、あなたにこう言います。

「あなたは高ぶり満載ですよ、兄弟。」「お～まさか！なぜ分かるのですか？ 高ぶりのくずやチリが生じる電柱があなたにない限り、高ぶりがどんなものか、私の人生にあるとどうやって分かるのです？」

こんな風に言われた事があると思います。「私とあなたは同類です。」お～あなたは高ぶりの専門家なんですね。なるほどそういうことですか。あなたは高ぶりについてかなり知っていますね。なぜならあなたが高ぶっているから！「私は高ぶってませんよ。」「私は、自分の高ぶりには謙虚で自分の謙虚さに高ぶります。」そう、それが高ぶり/プライドです。あなたは高ぶりに完全に負けていますよ。傲慢については、実はもう 1 つの定義があり、「箴言」にあります。私たちは俗に「高慢は破滅に先立つ」という箴言 16:18 を引用、恐らく誤って引用しますが、実際には「傲慢と高ぶり、堕落して破滅。」つまり、ただ堕落するだけではなく、傲慢は破滅に繋がります。「高ぶり、堕落、破滅。」それほど危険なんです。つまり、高ぶりが何をするかという、自分自身の高ぶりや傲慢を認識する能力を失わせます。つまり、私たちは自己中心的で、自分が傲慢なのに気づかなくなり、他人にだけ、それを見るようになります。あなたや私の罪が、常に他の誰かにとってとても酷く映るのではないですか？ ちょっとお時間差し上げます。ー(笑)ー 私が話している事、皆さん、よくお分かりですね。つまり、自分には目の中に梁、電柱があるのに、他人の人生の高ぶりのチリは指摘する。あなたは高ぶり満載です。あなたは、高ぶり捜査官、罪を嗅ぎ分ける探知機、好きに呼んでください。自分をそういう者に祭り上げています。他人の人生の高ぶりを指摘するため、まるで神があなたを召されたかのようです。そんな感じです。いいえ、神は召しておられませ

ん。実は、神があなたの人生の高ぶりを指摘される良い指標ですよ、兄弟。まず、あなたの人生にある高ぶりという電柱をどうにかしてから、私のチリのことを話しましょう。実話ですが、すごく良い話です。スタンレー・ボルト。今は主と共にいます。とにかく素晴らしい牧師、素晴らしい聖書教師でした。何年も前、80年代後半から90年代前半、本土にいたとき、私は妻と、彼が講演者の一人だったカンファレンスに行く特権に恵まれました。彼が一度、話してくれました。あるカンファレンスで説教した後、一人の男が彼のところに来て、こう言った。

「兄弟、あなたは高ぶり満載ですね。」それに対し、彼の答えは、

「お～あなたは、その高ぶりの半分も分かっていませんよ。」

一(笑)一 でしょ？ もし私なら、全くそんな対応はできないでしょう。「あなたは、高ぶり満載ですね。」
「私が？あなたはどうなんです！？ あなたは私に高ぶっているというのですか？」ごめんなさい。たぶん私はこれを持って、主の下へ行く必要がありますね。

要点は、傲慢さ、驕り、高ぶりが私たちを無力化する事。私たちに力を与えるのではなく、弱くさせる事。罪の示しへの感受性を無効化にします。聖霊のあの静かな小さな御声の「これが高ぶりですよ。」を。数週間前に話したように、私たちは難しい方法で学ぶか、簡単な方法で学ぶかの、どちらかになります。もちろん、簡単な方法で学びたいものです。私は難しい方法で学び、それを証明する傷跡があります。私はむしろ.....これはとても愛に欠け、利己的ですが、むしろ、あなたの過ちや、罪や高ぶりから学びたいです。そう、代理で。あなたが自分の罪の結果に押し潰され、苦しむのを見て、

「私は、そうなりたくない。基本的に、あなたには気の毒ですがでも、私は大丈夫。犠牲となってくれて、ありがとう。」ただし、そう簡単にはいきません。「最後は、神であるわたしです。わたしがあなたを謙虚にさせますよ。」

「主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高く上げてくださいます。」(ヤコブ 4:10)

私の聖書、JDVではどうなっているか知ってますか？(JD牧師バージョン)これは神への冒涇ではありませんよ。ユーモアです。JDバージョンではこうです。

「JD、わたしの前で謙虚になりなさい。わたしがあなたにそうする前に。」

そう、興味深いです。具体性がありますね。こうは、書いていません。「神が、あなたを謙虚にさせる。」そうではなく、自分自身がする仕事です。「自分自身が謙虚になる」責任は私たちにあります。「主の御前で自分自身が謙虚になる」「箴言」には繰り返しあります。これは別の機会の別の学びですが、時間の都合上、簡単に言います。「謙虚さは知恵のきっかけである。」あなたが神に知恵を求めれば、謙虚でなければあり得ません。また逆に、高ぶりは、愚かさのきっかけです。ですから、私は神に知恵を求め、神の御心を知りたいです。謙虚さがなければ、そのチャンスはありません。なぜなら、そのように作用するからです。知恵は謙虚に、愚かさは高ぶりに関係します。私の心に高ぶりがあるなら、何をするにも、どんな決断を下すにも、いつも愚行だと知っています。逆に、ヤコブ(3:17)が言うように、上からの知恵は、まず純粹で、平和的で、穏やかで、協調性があり、慈しみと良い実りに満ちていて、偽善や偏見のない、義の実を結びます。それがヤコブの定義する上からの知恵です。知恵には二種類あります。世の知恵と、上からの知恵/神の知恵です。それは、よく考えてみると、雛形のようなものです。まずそれに、神の知恵 対 この世の知恵という雛形を置かない限り、決して決断してはなりません。なぜなら、世の知恵は、欲望、高慢.....まだまだ続きます。私はこのリストを忘れようとしています。このリストは、世俗的な知恵と高ぶ

りからの私の愚かな決断を多く示すからです。ですから、私は傲慢なのか？ 繰り返しますが、他人の人生の傲慢さのチリを指摘する前に、自分自身にこう問いかけるのがよいでしょう。

「私は傲慢なのか？」聖霊に、あなたの心を調べてもらいましょう。主に切り取って頂きましょう。鋭いです。「神の言葉は鋭く生きていて、どんな両刃の剣よりも鋭いのです。」刺し貫いて、全てを切り取ります。それこそが、神の御言葉がなさることです。私の長男が1歳の時、お腹にしこりがあることに気づきました。もちろん、大変敬虔な私は、パニックを起こしましたよ。「お～～、神様！～～」病院へ連れて行きました。「あ、ヘルニアですね。」「ヘルニア？1歳ですよ。」ええ、活発な子でしたけどね。ですから、仕方ありません。よくある、とても日常的な手術です。ヘルニアですから、手術して縫わねばなりませんでした。それで、私たち夫婦が何をしたか分かりますか？ 私たちは、医師にナイフを持たせ、長男に切り込ませたのです。なぜそんな目で見えるのですか？ どうしてか？ 処置が必要だったからです。ではなぜ、どんな両刃の手術器具ナイフより鋭い神の御言葉で神にさせていただかないのですか？ これが行くべきところですよ。明らかにせねばなりません。そのまま放置しておく、もっと酷いことになります。切り取る必要があります。ですから、主よ、私の心を調べてください。傲慢、高ぶり、驕り、私の心に住み着いているのでしょうか？ もしそうなら、主よ、それを取り除くため霊的な心臓手術が必要です。

2つ目の質問です。さらに悪化します。ですから、私たちは.....これはほんの始まりに過ぎません。皆さんに警告しておきます。「私は誹謗中傷をしているのか」11節です。人は、高ぶり、傲慢さに支配されると、お決まりは自分を良く思い、自分をより高く評価し、その結果、自分が最終的権威だと自分を高く上げます。それがペテロがここで言っている事です。そうやって彼らは、自分たちが御使いよりも上だと見なしています。さて今現在、私たちは御使いより上ではありません。栄光では、私たちは御使いの上で、パウロが、コリント人に書いた(6:3)通り御使いを裁くことになります。しかし、今は、この天の存在の御使いたちは、私たちよりも上です。ところで補足的に、言わせていただくと、御使いたちも私たちが研究しています。彼らは頭をかいています。そう、彼らは研究しているんです。私たちに驚いています。なぜなら、御使いは、神に似せて造られていません。人間に贖罪の計画があるように、彼らには贖罪の計画がありません。私たちの場合でいうと、私自身を例にとって説明します。皆さんのために犠牲になります。御使いたちは私の人生を見て、ただ頭を搔いているだけじゃなく、神に、公式な苦情を申し立てると思います。-(笑)-

「何??この人、どうなっているの？ あなた(神)に似せて創られています。彼は私を裁くのですか？ 神様、お願いします。天国で、私の担当にしないでください。」

OK。進行中の説教に戻りましょう。皆さん、ここで何が起きているか分かりますか？ あなたは思い上がり、大胆にも主の御前であなたより高く力のある御使いが決してしないのに、誹謗中傷しています。それを傲慢といいます。傲慢は誹謗中傷と同居します。一緒にいます。傲慢のあるところに、誹謗中傷あり。誹謗中傷があるところに、傲慢あり。同居します。一緒にいます。それが理由です。思い上がると、最終判断が自分です。自分が最終権限者です。

「あなたは私に答えねばならない。私が誰だか知らないのか？」と。さて、次に進みましょう。3つ目の質問です。-(笑)-

皆さんがまだ起きているかどうか確認したいんですよ。12節、ではこの件、お付き合いください。少し説明する必要があります。しかし、ここで質問が生じます。

「私は理不尽なのか」どういう意味でしょう？ ええ、興味深いです。ペテロは、神を冒瀆する者たちを

捕らえられ殺されるために生まれてきた獣のように容赦なく描写します。うわ、厳しいですね。ええ、でも動物です。これは不釣り合いとか不当だと思わず、ペテロが偽教師を何に例えているかを理解することが重要です。彼らは、理性も理屈も通じない動物です。動物的です。彼らは、本能のままに行動します。私はこのことを、言い方はマズいですが、我が家の犬について考えていました。犬を飼っていて、とてもイケてる犬です。チワワとテリアのミックスです。私の犬は、最高にイケてます。聞いてください。教えましょう。実はこの犬、かなり自慢できます。でもとにかく、私はこの犬が大好きです。本当にそう。本当に大好きです。私の家族全員、この犬が大好きです。でも、理屈は通じません。ー(笑)ー

私が何を話そうとしているか、もうお分かりですね。聞いてもらっていいです？ 例えば、うちは私道なので手でゴミを出すので外に出て、ゴミを捨てに行きます。ゴミ箱に車輪があるのを神に感謝します。車道まで引きずって行けます。(ゴロゴロゴロゴロ〜) 我が家は路の端っこで、静かなのにね。私の悩みはこれくらいで。とにかく、ゴミを出しに行って、9分くらいたつたでしょうか。私が戻ると、私の犬が、犬の名前はバディ、バディが「どこ行ってたのぉ?!」と1年くらい会ってないみたいなんです。なので、バディに説明しようとした。「バディ、いいかい、私はたった9分いなかっただけだよ。」彼は理解しません。そこで、私は、「ちょっと待てよ、彼はチワワだ。スペイン語で言ってみようか。スペイン語は話せないし、どうしよう？」ー(笑)ー ジャーマンシェパードを飼っている方ドイツ語が通じますか？ フレンチプードルなら、フランス語？ 私には分かりません。でもあなたが話すと、犬はあなたを見て... (不思議そうに首を左右に傾げる) ー(笑)ー 純然たる本能。それが彼らのふるまいです。彼らのやり方です。ペットが餌を食べる前に膝を屈めて祈る姿を見たことがあります？ ありません。本能です。それが本能です。彼らは本能的で、それが動物だということです。それが、ペテロが彼らを例えている事では？

これは、敵が私たちに「こういう人たちに何とか理屈が通じる」と思わせることに一定の成功を収めたという意味で、デカイと思います。もし彼らが完全に明け渡した、正真正銘の偽教師なら、獣のようです。あなたの時間を無駄にしないでください。

狼にどう対処しますか？ 狼と一緒に座って、筋道立て話しますか？

「OK。狼さん、話があります。あなたは群れを惜しんでいませんね。つまり、これはうまくいきません。続けられません。ここで折り合いをつけましょう。」

狼の反応は？「うははははは...もちろんですよ。はははは。(羊の鳴き声)」

つまり、滑稽でばかげたことですが、それがペテロがここで言っている事です。ですから私たちは、外に出てこういう理屈の通じない動物を告発したり、嗅ぎつける前に、まず、理不尽という電柱を私たち自身の目から取り除きませんか？「私は理不尽なのか？」ほら、長老としての資格、つまり教会で監督として働く資格は、私たちが「牧会書簡」と愛称する「第一・第二テモテ」「テトスへの手紙」に、使徒パウロは、長老やもちろん牧師に必要な資格を列挙しています。まず、女たらしであってはなりません。一人の女性を愛する男性でなければなりません。悲しいかな、それが誤解されるんです、残念なことに。でももう1つ、これは非常に誤解されていると思いますが彼らは、教えやすい人でなければなりません。つまり、教えることができる人。だからといって、長老になるのなら、ここに上がって教えねばならない、ということではありません。そうではなく、教えられる、ではありません。教えやすい人です。何とか伝わるよう頑張っています。一緒にお願いしますね。彼らは、教えやすい人でなければなりません。道理をわきまえていなければなりません。謙虚でなければなりません。必要なのは、略語(頭文字)ですけど、

大変不適切です。でも私は大好きなんです。私たちは本土で、長年使ってきました。このミニストリーでなんとなく取り入れてみました。でも、本土の私の教会では、FAT：太っている人を探しました。いやいや待ってください。私は当てはまります。

F-A-T

Faithful：忠実。

Available：協力的。

Teachable：教えやすい。

聞いて下さい。彼らが教えやすくないなら、終わりです。一からやり直し、あ、これ（ジェスチャー）はもう古い。更新（アップデート）しないとイケませんね。そのアプリがありますよね？ だから初めからし直せます。（ボタンを押す振り）時計、タイマーをスタートすればいい。時間の問題です。教えやすい人でないなら、辞めさせる。そもそも彼らを入れないでください。間違いなく、彼らに手を出してはいけません。こう言われるのを聞いたことがあります。このことは私自身の人生で、批判ではなく、聖霊の罪の示しですが、最高の教師は、最も教えやすい人です。教えやすい人でなければ、神の御言葉の教師にはなれません。こんにち、多くの教会の説教壇で見えたり聞いたりするのは、その特権から説教壇にいる人が、人々を見下し、思い上がった態度で、偉そうに話すことです。それはまるで「あなたがたには必要だ！」という言い方です。お～この3つの言葉。（You need to/あなたがたには必要だ）私からその言葉が出るのを聞くことがないのをお願いします。「あなたがたはもっと祈る必要がある！」「はい。わかっています。。。」

その意味するところがわかりますよね？ 「これ（私）が祈りの人だ！」という意味。彼がこうは言わないことに留意ください。

「私たちみんな祈るべきなのに祈らないから有罪です。」それが教えやすい教師です。

でも「あなたがたは、”私のように”祈りの男性/女性になる必要がある！」という言い方だとしたら？ 皆さん、わかります？ そうだといいいんですが。これが精一杯です。それは教えやすいのではなく、謙遜ではなく、道理をわきまえていません。すると匂います。なぜなら、今日から私たちは、罪を嗅ぎ分ける探知機があるでしょうから。最後の1つ。神に感謝します。しかし、これは簡単には済みません。これが全ての最高点とも言えます。13節、

「私は自己欺瞞なのか」

では、これを定義せねばなりません。「自己欺瞞」は、意味深ですが、自分自身を欺く事。「自己欺瞞」です。つまり、自分さえも欺く可能性があるほど欺瞞に満ちている。自分が、自分の嘘を信じてしまうほど、嘘が上手い。因みに、そのことについては生理学的に神経学的説明があります。脳内に経路があり、神経科学がそれを発見しました。私の記憶が正しければ、「嘘をつき続ければ、人々はそれを信じる。」という格言がありますね。恐らく、アドルフ・ヒトラーだったかもしれません。もし間違っていたら、正してください。でもそうだったと思います。何度も何度も嘘をつき続けると、ある時点で、その嘘が信じられる。サタンは、そのことを知っていますよ。これこそが偽善の危険なところ。それが自己欺瞞です。それが、ペテロがここで言っている事で、彼らは事実、不義で汚れていて、あなたたちと一緒に食事しながら、一緒にパンを裂きながら、自己欺瞞を助長しているとペテロは言います。つまり当時、彼らは初代教会に触手を伸ばし、こっそり入り込み、正にパウロが言い、ペテロが反復した通り、この狼たちがあなたがたの中には入り込み、あなた方の中から出てきます。容赦なく群れを荒らし回ります。（使徒 20:29 参

照) ですから彼らは今、あなたと一緒にパンを裂いています。彼らは、仮面をつけています。彼らは、自己欺瞞です。ここであまり専門的なことは言いたくありませんが、これは聖霊の助けで理解できるでしょう。これは実は、「グノーシス主義二元論」と呼びます。

「グノーシス主義二元論」とは？ それは、道徳的な説明責任を回避しながら、人々が罪深い快樂を求めることを欺瞞的に、偽って許す事です。そして、これが当時の教会にとって最大の脅威でした。だからペテロは、聖霊に導かれ、彼の最後の手紙を書いているのです。私は信じ、思うのは、ペテロは、最後の言葉、別れの言葉を、このことを信者に警告する以外の内容で書きたかった筈だと。しかし、このような警告が必要なレベルにまで上がりました。またこれほどの強さが必要です。これは、ペテロが靈感を受けて聖なる強さと共に書いた手紙です。かなり生々しい内容です。かなり荒々しく強烈ですよ？ 動物のよう？ この者たちは、ただ一つのことには向かない猛獣で、罠で捕えて殺す。いかがでしょうか？ 良い午後をお過ごしください。あなたがたは、彼らを容赦なく対処しなさい。彼らは躊躇わず、容赦なく対応してくるから。自己欺瞞とは、私たち誰しもの中に、人間の罪の性質として、自分を欺く性質があります。危険なのは、欺かれた人が、人を欺くことです。同じことを再度、別の言い方で言います。これがその危険なのです。自己欺瞞の最も危険な点は、「欺かれた人が、人を欺くこと」です。彼ら自身が騙されています。彼らはここにいて、一緒にポットラック（持ち寄りパーティ）するのですか？ 皆さん、その文化の力学を理解する必要があります。私たちは毎回、いや、毎回ではありませんが、聖餐式を行うときにその話をします。今週木曜日に聖餐式を行う予定ですが、パンを裂き、杯を飲み、キリストの体と血は、イエスが、私たちのためにしてくださったことを象徴します。この聖餐式（communion）は共通（common）の結合（union）でした。旧約聖書の時代も、新約聖書の時代も、こんにちまでその文化は確実にあり、中東の文化、私の文化では、死ぬまで忠誠を誓う相手でない限り、誰かと一緒にパンを裂いて食べません。ところで、1993年、クリントン大統領は、ホワイトハウスの芝生で悪名高いオスロ協定にヤセル・アラファトとイツハク・ラビンと署名しました。その後、イツハク・ラビンはこの平和協定のために暗殺されました。彼らは握手をしましたとても不快な握手でした。皆さん見ましたよね？

ああ、あれは何の意味もありません。あれは合意の方法ではありません。中東では、合意や誓約をしたいのなら、より良く言えば、パンを裂く事です。契約を切る（成立）の意味です。そう、あなたは誰かと合意し、誓約して一つになる。あなたの中にあるパンは私の中にもある、私たちは一つ。その杯、同じ杯から飲みます。あなたが飲むその杯は、私が飲む杯。それが、共通の結合です。私たちは一つ。そして、死ぬまで忠誠を誓う。ですから今の中東文化、特にアラブの人たちは世界で一番もてなしの心があります。これがもちろん聖書にそのルーツがあります。そう、ロト。先週話しましたが、またまた生々しい描写ですが、あの御使いたちがロトのところに来たとき、ロトは自分の家に御使いたちを入れたので、彼らに対して責任を持たねばなりません。彼らのために必要なら死をも覚悟せねばなりませんでした。それが文化です。その時、、、たくさんありすぎて、時間をかけたくありませんけど、それほど興味深い学びです。皆さんもぜひ、神の御言葉を自分で時間をかけて学ぶのをお勧めします。誰かと一緒にパンを裂いて食べることの力強さ、奥深さの意味を感じられます。基本的に、相手と契約を結ぶことになります。彼らはそれをしていましたか？ このような自己欺瞞で、不義で汚れた者たち、捕まえられて殺されるだけの動物のような。私たち一人ひとりが立ち止まる必要があります。しかし、まず自分自身の心を調べ、自問自答し、聖霊に自分の心を調べていただくべきです。私は惑わされているのか？ 惑わされるというのは、あなたは惑わされていて、惑わされていることに気づかないから。聖霊が必要です。聖霊のあの

静かな小さな御声が必要です。神はとてもお優しく、恵み深く、忍耐強く、長く苦しんでおられ、お～神は、決して厳しくなく、無礼でも、ぶっきらぼうでも、意地悪でもありません。神は、非常に愛情を込めて、やさしく指を置いてくださいます。

「見なさい。ここです。取り除く必要があります。わたしは取り除く必要があります。それがあなたを殺す前に、わたしはそれを取り除かねばなりません。わたしがそうしないなら、それがあなたを殺すからです。」

神は、とても恵み深く、憐れみ深くあられます。私は、恵みと慈悲が大好きです。なぜなら、両方一緒にあるからです。恵みは、神があなたに値しないものをお与えになることで、そして、慈悲とは、神があなたに値するものを与えられないことです。私は両方いただきます。両方注文します。お願いします。

2倍で。(苦笑) 2倍の注文をします。その両面に恵みと慈悲が必要です。神は恵み深く、慈悲深くあられます。

最後にもう1つ、これで終わりです。ご忍耐感謝します。長年、私の牧師としてのミニストリーの経験の中で、その醜悪さを目の当たりにしてきました。このことが、結婚、家族、牧師、教会を踏み荒らすのを見てきました。ただただ、胸が痛みます。全ては、騙されやすい純朴さが故です。言わば、素朴な無邪気さで、でも、羊は純朴です。私たちは騙されやすいのです。愛と受容と歓迎を掲げて、人々を受け入れたいのです。しかし、イエスが仰った **(マタイ 10:16)**

「鳩のように素直で蛇のように賢くありなさい。」

を忘れていませんか？ その趣旨のたとえ話もいくつかあります。それは、「見極め」と「判断」の教訓だと思います。マタイの福音書、イエスはこうは仰っていません。「一切してはいけません。」そうじゃなく、イエスが仰ったのは、「大事なことをまず第一に。」です。あなたがそれをする前に、まずは自分を大切にすること。つまり、禁止事項じゃありません。むしろ、どちらかという、聡明になって「識別力」をもつことを勧めておられます。

「鳩のように素直で蛇のように賢くありなさい。」

「わたしは狼の中に羊を送り出すようにして、あなたがたを遣わします。判断力、健全な判断力を持ちなさい。」

主の御心なら、来週、皆さんこれを学びます。私が「第二ペテロ」が大好きなのはこの理由です。ペテロは、彼らがいかに弱い者、世間知らずの者を食物にしているかを語ります。本当は、奨励の言葉です。

(お許してください)「もっと成長しなさい！」この者たちはというのは、嗅ぎ分けます。彼らは、1マイル先からあなたの匂いを嗅ぎつけます。あなたは格好の餌食です。彼らは不安定な者、未熟な者、弱い者、御言葉に強くない者、御言葉を知らない者を探します。聖書は攻撃的ですよ。

—詩篇 119—

「あなたのみことばは 私の足のともしび 私の道の光です。」

闇を露呈する。光のスイッチになる。電気をつけると、ゴキブリが出てくる。—(笑)— ひどい描写ですね。—(笑)— そういうのはメモにありません。絶対無理です。最初のカットや編集に間に合いません。でも私の要点は、伝わったと思います。そう、彼らは、世間知らずが獲物です。ペテロが言っているのは、「しっかりしなさい。あなたがた！」パウロも同じことを言いました。ペテロは、パウロと同じことを言っているのです。

「無知であってはいけません。騙されてはいけません。そんなに世間知らずではいけません。あなたがた

は靈的に成熟する必要があります。このような者たちは、破壊的で、動物のような者だから。」
両方当てはまるのが、彼らは、あなたが行くのを見て「あいつには手を出すな。」実際、彼らはあなたの住所をリストから削除します。エホバの証人やモルモン教徒のように。彼らにはリストがあるのは知っていますね？ 私は、ここに引っ越してきて早々にリストから外されました。ええ、実は自慢できることはありませんが、ただ.....まあ、ちょっと言ったのが、「あなたたちは偽でしょう。イエスは神です。あなたたちは騙されています。それでは、御機嫌よう。」彼らは二度と来ることはありません。でも、まだ近くには来ますけど。他の家は全部回るのに、うちには寄らないのです。何というか、こうやって、こそこそ通り過ぎるのです。「あの人の家には行かない。」甘く見てはいけません。騙されてはいけません。これが危険であり、油断は禁物です。しかし、まず主を求め、このことについて主に私たちの心を調べていただきましょう。

カポノ、上がって来てください。お立ちください。祈りと賛美で締めくくりましょう。

天のお父様、感謝します。主よ、本当にありがとうございます。繰り返しますが、これはちょっと厳しい内容ですが、大変必要です。ええ、もちろん、ペテロが、他のことを書いていたら、私たちは他のことを学んだでしょう。しかし、これが重要なのです。あなたは私たちに、まず自分自身を知り、見極め、判断することを、望んでおられます。

主よ、もう一度言いますが、聖霊がそうしてくださらない限り、私たちの生活でこれを実行する望みはありません。私たちの人生にいるべきでないのに住み着き、あなたが取り除きたいと望んでおられる物、私たちに内在する聖霊が、私たちのために、代わりにしてくださらなければ、なされることはありません。ですから主よ、お願いします。どうかこれをなさってください。聖霊の御力とイエスの御名によって、御父よ、あなたの栄光のために。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7